

2026 年 4 月 10 日

アイパス学院

自己点検・評価報告書

日本語教育機関として、現状を的確に把握し、教育水準の更なる向上と事業運営の適正化を図るため、当学院に関する自己点検・自己評価を実施し、報告書を作成する。尚、点検・評価項目については、日本語教育振興協会の「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（2025 年版）」を参考にし、独自に修正を加えたものを採用した。

各項目の評価方法は、4 段階評価(A～D)とし、適宜補足説明を加えている。

- ・A：達成されている／適合している
- ・B：ほぼ達成されているが、不十分なところもあり改善に取り込んでいる点がある
- ・C：達成に向けて努力している
- ・D：未達成／1 年以内の達成を目処に取り組みを検討している

1. 教育の理念・目標

- () 1-1 学校の理念が明確になっている。
- () 1-2 理念に基づく教育が行われている。
- () 1-3 学校の理念・教育目標や人材養成が明確で社会のニーズに合致している。
- () 1-4 理念・教育目標が教職員および学生に周知されている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

2. 学校運営

- () 2-1 認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを確認している。
- () 2-2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確になっていて、教職員に周知されている。
- () 2-3 学則、組織、学務、人事、会計管理に関する規定が整備されている。
- () 2-4 管理運営が組織的に確立され、効率的に機能している。
- () 2-5 コンプライアンス体制が整備されている。
- () 2-6 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等に適切に対処している。
- () 2-7 業務の見直しや効率的な運営の検討を定期的かつ組織的に行っている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

3. 教育活動

- () 3-1 教育理念・目的に沿った教育活動が体系的に編成されている。
- () 3-2 教育活動の計画が教員全体に周知されている。
- () 3-3 教員の指導力向上のための取組が行われている。
- () 3-4 教育課程の改善のための取組が行われている。
- () 3-5 成績評価、進級、修了の判定基準が明確化され適切に運用されている。
- () 3-6 出席簿・授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録し、適切に管理している。
- () 3-7 学習内容及び学習予定等を学生に開示している。
- () 3-8 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っている。
- () 3-9 理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。
- () 3-10 評価方法を改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

4. 学習成果

- () 4-1 学生の日本語能力向上が図られている。
- () 4-2 学生の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達している。
- () 4-3 入学から修了、卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。
- () 4-4 進級及び卒業判定が適切に行われている。
- () 4-5 学生の進路を適切に把握している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

5. 教員育成

- () 5-1 教育力及び支援力強化のための取組を適切に行われている。
- () 5-2 教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。
- () 5-3 新任教員、初任教員、所属する教職員を対象し、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行われている。
- () 5-4 教職員評価のための体制、方法及び評価基準を定め、開示している。
- () 5-5 自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価を行われている。
- () 5-6 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施するとともに、他機関の実施する研修会等への参加を促している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

6. 学生支援

- () 6-1 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。
- () 6-2 留学生活に関するガイダンスを定期的実施し、その効果を確認している。
- () 6-3 重篤な疾病や障害、交通事故にあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めている。
- () 6-4 防災・緊急時における行動体制を整えている。
- () 6-5 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。
- () 6-6 学生の保護者と適切に連携できている。
- () 6-7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。
- () 6-8 生徒の生活指導及び進路指導に関する知識を有する教員を生活指導担当者として定め、担当者が周知されて、適切な生活指導が行える体制を整えている。
- () 6-9 進学に関する最新の資料が備えられ、学生に提供している。
- () 6-10 学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。
- () 6-11 卒業後の進路を把握している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

7. 教育環境

- () 7-1 教室内は十分な照度があり、換気もなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされている。
- () 7-2 授業時間外に自習できるスペース及びリソースを提供している。
- () 7-3 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。
- () 7-4 視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な設備や教育用機器及び設備が備わっている。
- () 7-5 法令上必要な設備等を備えている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

8. 入学者の募集と選考

- () 8-1 入学者の募集が適切に行われている
- () 8-2 教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。
- () 8-3 入学者募集の際に学校の情報が正確に伝えられている。
- () 8-4 海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。
- () 8-5 海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。
- () 8-6 入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。
- () 8-7 入学希望者の学習能力、学習意欲、日本語能力等情報を確認している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

9. 情報公開

- () 9-1 機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開されている。
- () 9-2 募集及び納付金に関する情報を公開している。
- () 9-3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供が行われている。
- () 9-4 公開されている情報は常に最新のものに更新されている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

1 0. 財務

- () 10-1 中長期的に学校の財務基盤は安定している。
- () 10-2 予算・支出計画は有効且つ妥当なものとなっている。
- () 10-3 財務について会計監査が適正に行われている。
- () 10-4 財務情報公開の体制整備はできている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

1 1. 法令の遵守等

- 11-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営が行われており、法令遵守に関する担当者を定めている。
- 11-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。
- 11-3 個人情報保護のための対策を取っている。
- 11-4 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁への定期報告を遅延なく実施している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

1 2. 地域貢献・交流

- 12-1 日本語教育機関の教育資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。
- 12-2 学生の地域活動や交流の奨励・支援している。
- 12-3 地域における日本語教育等を積極的に行われている。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉

1 3. 安全・危機管理

- 13-1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。
- 13-2 感染症発生時の措置を定めている。
- 13-3 防災用品が備蓄されている。
- 13-4 気象警報発令時の措置、災害時の避難経路、方法、場所を定め、周知している。

〈現状の取り組み〉

〈今後の課題〉